

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【公開番号】特開 2001-199230 (P2001-199230A)
 【公開日】平成 13 年 7 月 24 日 (2001.7.24)
 【出願番号】特願 平 11-350701
 【国際特許分類】

B 6 0 H 1/32 (2006.01)

F 2 5 B 41/06 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 H 1/32 6 1 3 B

F 2 5 B 41/06 K

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 弁本体と、上記弁本体の上端部に設けられダイアフラムの変位に応じて弁体を駆動するパワーエレメント部と、を備えた温度膨張弁であって、上記パワーエレメント部を覆うカバーを設けたことを特徴とする温度膨張弁。

【請求項 2】 上記カバーは一对のパーツに分割されており、これらのパーツは、上記パワーエレメント部を挟み込んで合体させるように形成されていることを特徴とする請求項 1 記載の温度膨張弁。

【請求項 3】 上記カバーは、頭部と、その両側から下方に向けて延出した一对の側部と、を有しており、上記一对の側部により上記弁本体を挟み込んだ状態で上記弁本体に装着されることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の温度膨張弁。

【請求項 4】 上記弁本体の下部には、下方に向かうに従って互いに接近するテーパ面が形成されており、上記カバーの各側部の外面は、上記テーパ面と同一平面を成すように形成されていることを特徴とする請求項 3 記載の温度膨張弁。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の温度膨張弁は、弁本体と、上記弁本体の上端部に設けられダイアフラムの変位に応じて弁体を駆動するパワーエレメント部と、を備えた温度膨張弁であって、上記パワーエレメント部を覆うカバーを設けたことを特徴とする。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 1 7 】

また、本発明の温度膨張弁は、上記カバーは一对のパーツに分割されており、これらのパーツは、上記パワーエレメント部を挟み込んで合体させるように形成されていることを特徴とする。

【 手続補正 4 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

さらに本発明の温度膨張弁における好ましい具体的態様としては、上記カバーは、頭部と、その両側から下方に向けて延出した一对の側部と、を有しており、上記一对の側部により上記弁本体を挟み込んだ状態で上記弁本体に装着されることを特徴とする。

【 手続補正 5 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 9 】

さらにまた、本発明の温度膨張弁の具体的態様としては、上記弁本体の下部には、下方に向かうに従って互いに接近するテーパ面が形成されており、上記カバーの各側部の外面は、上記テーパ面と同一平面を成すように形成されていることを特徴とする。

【 手続補正 6 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】